

富士山こどもの国における公園概要書

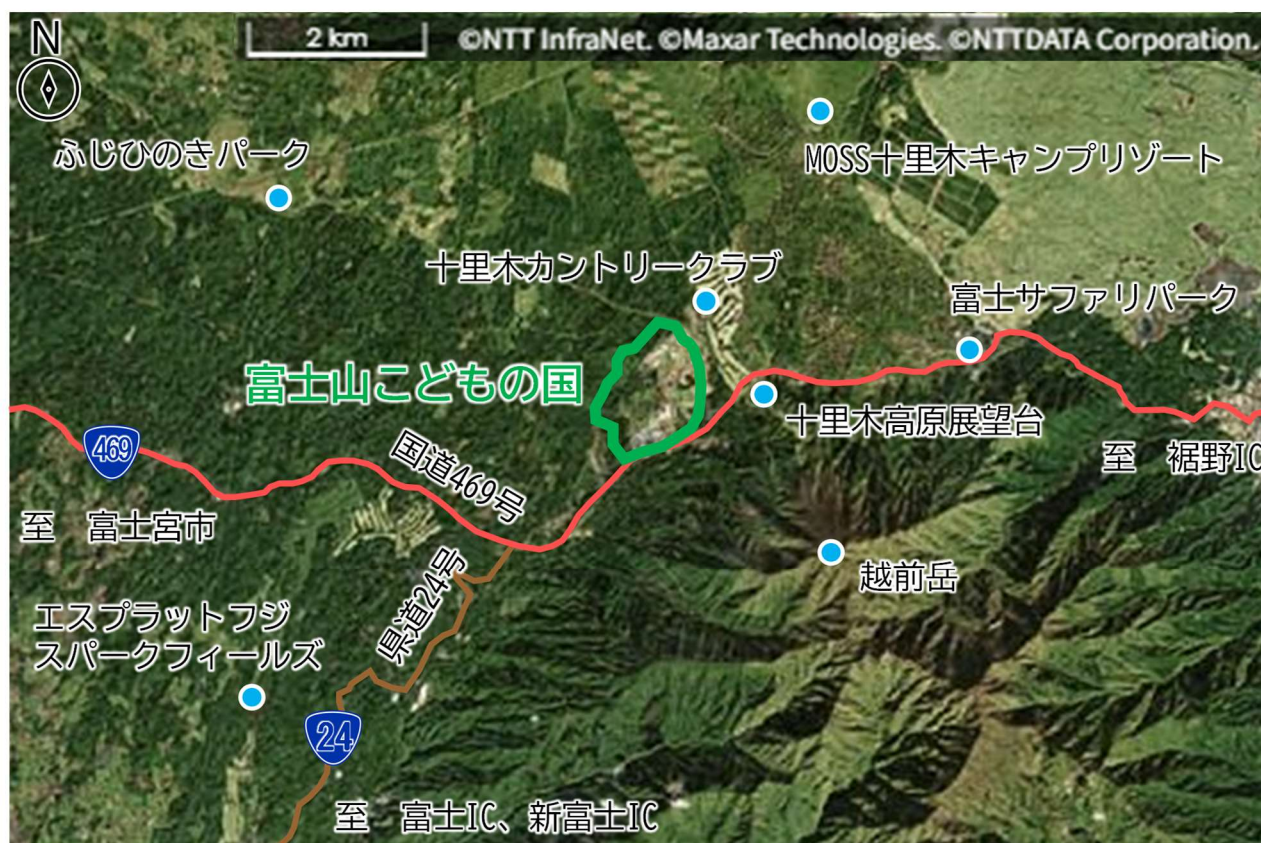
1) 対象敷地

- ・公園名：富士山こどもの国
- ・所在：静岡県富士市桑崎 1015
- ・開園年：平成 11 年 4 月 26 日
- ・面積：94.5ha
- ・公園種別：広域公園
- ・アクセス：

[バス] JR 富士駅よりバスで 50 分、富士山こどもの国下車

[自動車] 東名裾野 IC、富士 IC、新東名新富士 IC から車で約 20 分

- ・指定管理者：小泉アフリカ・ライオン・サファリ株式会社
- ・指定管理期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日

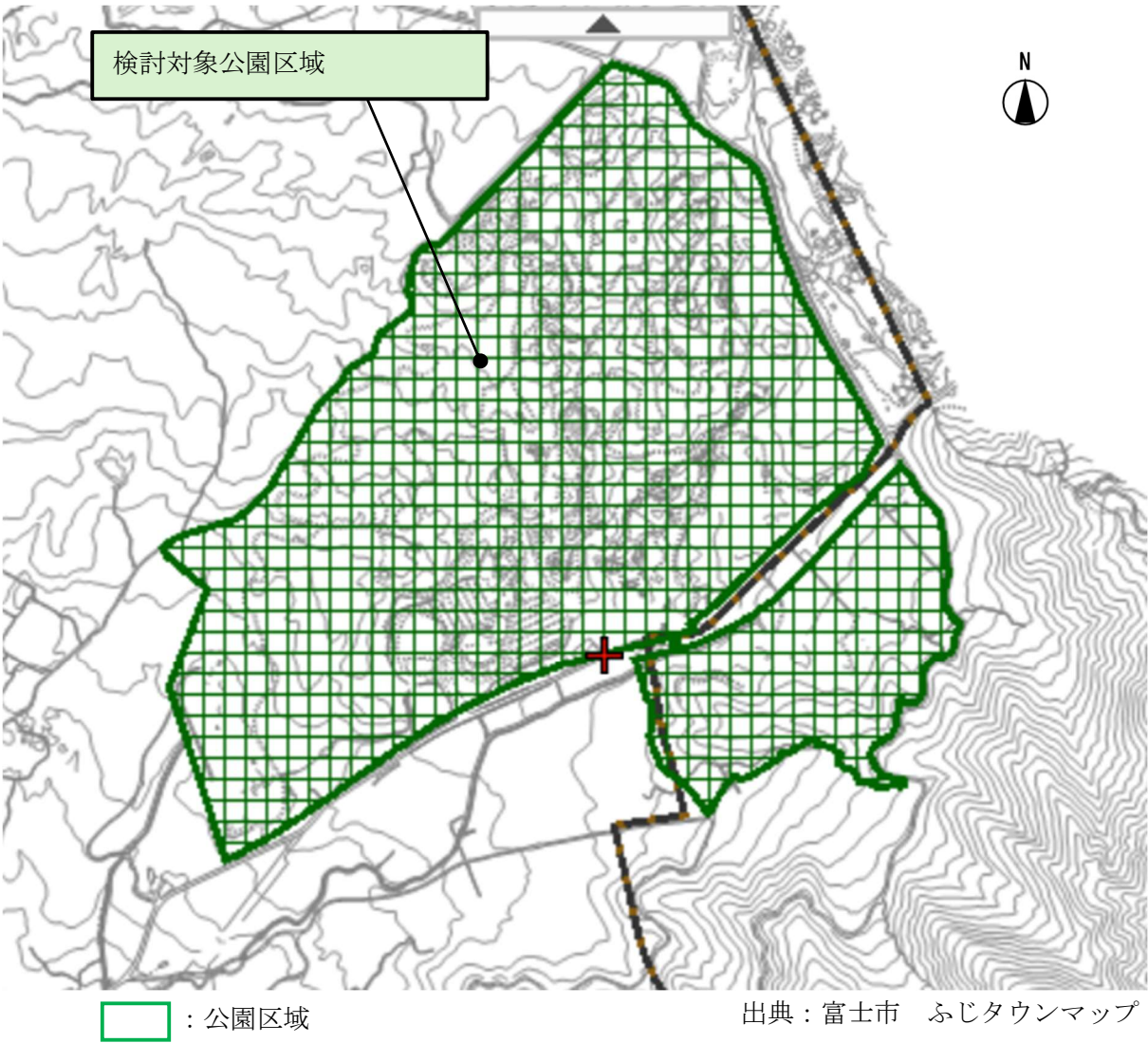


 : 公園区域

出典：NTT インフラネット

2) 用途地域

用途地域等			
土地の状況	区分	都市公園（広域公園）	
	所有者	市	
区域区分			市街化調整区域
地域地区の指定	用途地域	種類	指定なし



3) 公園の施設構成



出典：静岡県富士山こどもの国 HP

※駐車場台数：約 1600 台（無料）

エリア	施設の内容
草原の国	草原のゲート、草原の家、レストハウス、キャンプ場(20 区画)、オートキャンプ場(24 区画)、パオ集落(大 6、小 10)、草原の広場、動物広場、雪の丘、溶岩谷の遊び場、草原の迷宮、花の谷、クロスカントリーコース、駐車場 (200 台[うち身障者用 12 台]、バス 15 台) 等
水の国	池、水の遊び場、湧水・せせらぎ、水上集落、湿性の森、水の家等
街	街の広場、こどもセンター、こどもホール、ロッジ (宿泊室 12 室)、街のレストラン、売店、ゲート、スロープカー (車椅子昇降機)、駐車場 (1,365 台[うち身障者用 31 台]、バス 21 台) 等
その他	園内交通路・駅、取水施設、調整池等 (森の国、山の国、地の国含む)

4) 公園の設置目的・目指すべき方向

項目	内容
公園の設置目的	次代を担う子ども達が、富士山麓の雄大な自然の中で、友達や家族と元気にのびのびと遊ぶことを通じて、生命の貴さや自然の豊かさを学び、夢や冒険心を育むことができる場として、また、地域や利用者が交流できる場としての公園運営を目指す。
役割り、位置づけ	○子どもを中心に多様な人々が、創造性を発揮できるように自然環境を活かした魅力ある遊び場や体験場、広大な園内での多彩なイベント、プログラムなどを提供する。 ○富士山の麓の恵まれた自然により、多世代の来園者を対象に植物や野鳥など環境学習が楽しめる公園を目指す。 ○宿泊施設を保有し、ゆっくり公園を堪能できる環境から、利用者による公園の情報発信や施設運営側の P R 時には富士山の魅力も一緒に発信してもらう体制をつくる。

5) 公園利用者ニーズ

四季折々の行事にちなむ事業・イベント、日常生活では体験できない農作業やものづくり、動物とのふれあい、自然観察などの体験の実施により、こどもはもとより幅広い年代に、五感で自然を満喫する時間を過ごしている。

利用者のニーズに合った利用時間の設定は、利用者数の多いGW・お盆・秋の三連休の中日などに、臨機応変に対応している。また、夏場に利用者数の多い水の国では、猛暑対策としての日よけ（9 か所新設）やミストが喜ばれ、冷房付きの授乳室（コンテナ型）は多くの乳幼児連れの利用があった。

利用者評価の比較的低かったトイレの項目は、施設の老朽化が影響していると思われる。洋式化・ウォシュレット設置を含め、トイレ環境の整備が必要である。

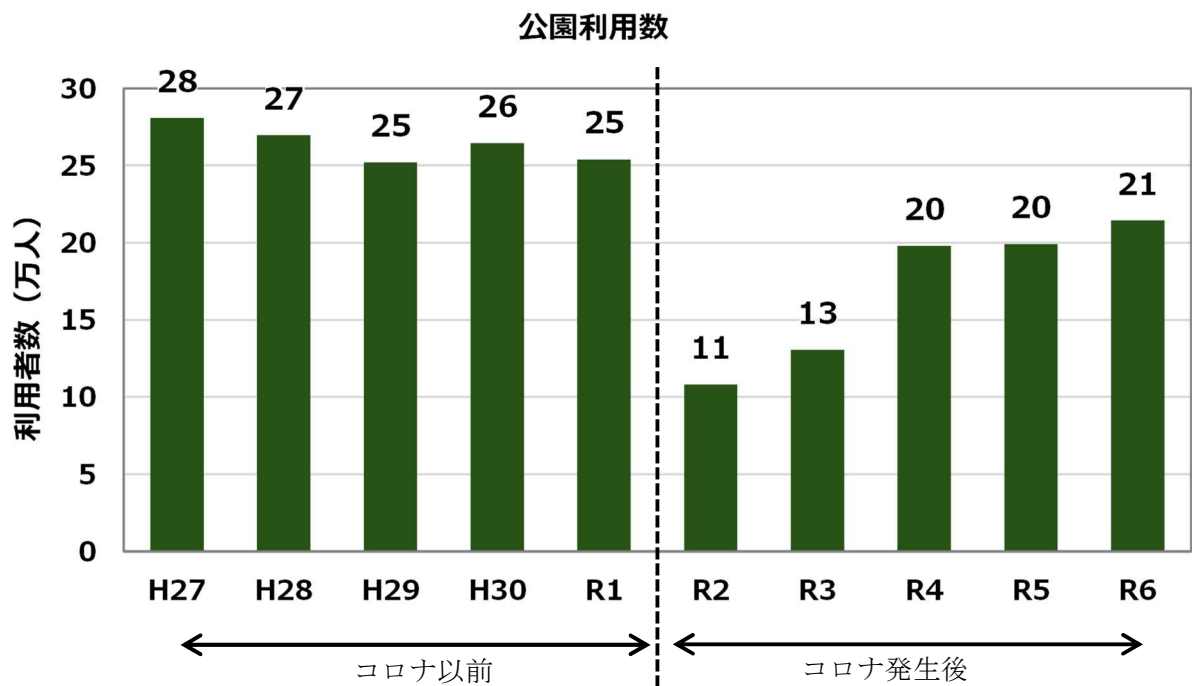
今後の利用者増に向けては、大自然を活かした公園であるため、炎天や雷雨等への安全対策や天候に左右されないプログラムの更なる工夫や、初めての利用者をリピーターにする仕掛けが必要である。

ア) 公園の利用状況（公園利用者数 10 年間）

令和元年度は約 25 万人であったが、コロナ発生直後の 1 年目は、約 11 万人と減少したものの、令和 5 年度の利用者数は約 20 万人、令和 6 年度は約 21 万人であった。徐々に回復傾向にあるが、コロナ以前には、戻っていない。

利用者アンケート調査より、利用者は 40～64 歳が多く、次いで 30～39 歳、小学生の順となっており、家族連れでの利用が多くなっている。

利用者は県東部 4 割、首都圏 3 割、県中部 2 割、県西部 1 割の傾向となっている。車で来場する子育て世代のリピーターとともに、初めての利用者も 3 割と多く、シニアの利用者が増加している傾向にある。



イ) 公園でのイベント

GWや夏休みのイベントとして鯉のぼり武者絵のぼり旗掲揚、ニジマスイベント、水の遊び場などが開催されている。季節の行事にちなむイベントや、毎月の家庭の日の「こどものくにマルシェ」も季節をテーマして実施している。自然に親しむイベントとして竹の迷路なども実施している。

外部団体による大型イベント（MtFUJI100：3,000 人、FUJI&SUN24：8,000 人、トレイルランナーズカップ：500 人）や合宿の受け入れも行っている。

表 主なイベント

イベント	竹の迷路
開催日	4月1日～3月31日
内容	地元勢子辻提供の竹を使って全長250mの竹の迷路を街エリアに設けた
利用実績	R6年度：参加者 23,087名 R5年度：参加者 19,381名 R4年度：参加者 13,790名

イベント	鯉のぼり武者絵のぼり旗掲揚
開催日	4月～5月
内容	お客様から寄贈された223匹を超える「こいのぼり」と「のぼり旗」の展示
集客数	R6年度：参加者 49,776名 R5年度：参加者 34,082名 R4年度：参加者 31,417名

イベント	ニジマスイベント
開催日	7月（R6）、GW・夏休み（R4,R5）
内容	富士宮産のニジマスを釣り・つかみ取りして塩焼きを食べる食育イベント
利用実績	R6年度：参加者 13,925名 R5年度：参加者 18,326名 R4年度：参加者 16,708名

イベント	動物にエサをあげよう
開催日	通年
内容	ウマ、ヤギ、ヒツジ、アルパカに餌あげを行い、生き物の大切さを学ぶ

イベント	水の遊び場
開催日	R6.6/15～9/30
内容	水深約30cmの遊び場。水のすべり台や広場、砂場など
集客数	R6年度：参加者 34,581名 R5年度：参加者 31,025名 R4年度：-

6) 収入と管理運営費

令和2～令和6年度の利用料金収入と管理運営費等は以下に示すとおりである。

表 利用料金収入と管理運営費

		単位：（千円）				
項 目		R2	R3	R4	R5	R6
収入	有料公園利用料金（入園料）（A）	23,574	29,454	42,849	41,255	37,520
	有料公園施設利用料金（B）	10,968	12,885	17,627	15,902	15,530
	行為の許可にかかる利用料金（C）	21	538	623	800	708
	県が支払う指定管理料	320,000	320,000	320,000	323,940	331,472
	その他収入	6,494	9,755	2,428	0	0
	収入計（D）	361,057	372,632	383,527	381,897	385,230
支出	企画運営・維持管理費	171,750	199,134	257,355	266,371	270,866
	県への納入金（（A）＋（B）＋（C））×10%	3,456	4,288	6,110	5,796	5,376
	支出計（E）	175,206	203,422	263,465	272,167	276,242
収支差（D）－（E）		185,851	169,210	120,062	109,730	108,988

7) 主要施設と現地概況

①街の入口 ゲート



②こどもセンター 総合案内所



③水の遊び場



④カヌー体験と水の家



⑤見晴らし塚



⑥雪の家



⑦クモの巣ネット



出典：NTT インフラネット